

船津ダム堆砂対策予備検討事業

1. 補助事業の目的

緑川第一及び第二発電所のリニューアル事業への理解促進を図るため、船津ダム堆砂対策の実施に向けた予備検討を行う。

2. 補助事業の概要

(1) 事業者名

熊本県企業局

(2) 事業期間

平成 28 年 12 月 12 日 ～ 平成 29 年 2 月 28 日

(3) 対象地域

熊本県下益城郡美里町

(4) 対象地域の状況

美里町は、熊本県のほぼ中央に位置する典型的な中山間地域であり、一級河川緑川とその支流が多く存在する。緑川は熊本平野を貫流し有明海に注ぐ一級河川であり、農業用水のほか、発電用水として 12 発電所で利用されている。

事業対象地域の下流となる緑川中流部は、山地部から段丘の発達した細長い平地を緩やかに蛇行しながら流下する区間であり、底生動物や付着藻類が生息・生育し、アユ、オイカワ、スナヤツメ、カワヒガイ等が生息しており、砂礫の多い瀬はアユの産卵場ともなっている。しかしながら、国土交通省による河川整備計画において「河川横断工作物や河川改修による護岸の整備や河道の直線化により、生態系のつながりが一部分断されている箇所がみられ、生物多様性を維持していくためには、自然な川のシステムを再生・健全化していく必要がある」と河川環境上の課題が指摘されている。

(5) 対象発電所

水系・河川名	緑川水系・緑川
発電所名	緑川第一発電所、緑川第二発電所
事業者	熊本県企業局
出力	第一：28,500kW、第二：6,100 kW

3. これまでの取り組み状況と課題

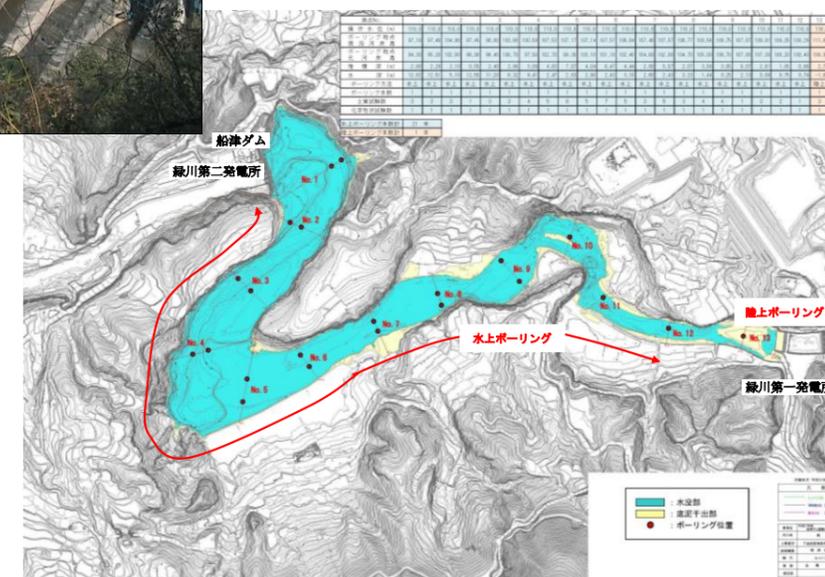
本県では、緑川第一及び第二発電所の設置以来、発電所見学者への対応はもとより、緑川ダム湖祭りにおける発電所見学会及びソーラーカー作成イベントの実施など、地域理解の促進に取り組んできた。

事業を行う船津ダムは、緑川ダム及び緑川第一発電所の下流約 2.5 km の地点にあり、緑川第二発電所で使用する水を貯留する逆調整ダムであるが、昭和 45 年の建設以来約 45 年を経過し土砂の堆積が進行していることから、平成 21 年以降、近隣市町村及び漁業組合等からダムによる土砂の遮断や濁水長期化等の改善を求める要望書が数回にわたり提出されている。これらの要望を踏まえ平成 26 年度から対策としてスルーシング（通砂）に取り組んでいるものの、抜本的な対策の実施には至っていない。

そのような状況から、今後の堆砂対策の実施に向け諸課題を整理する必要性が生じている。

4. 実施概要

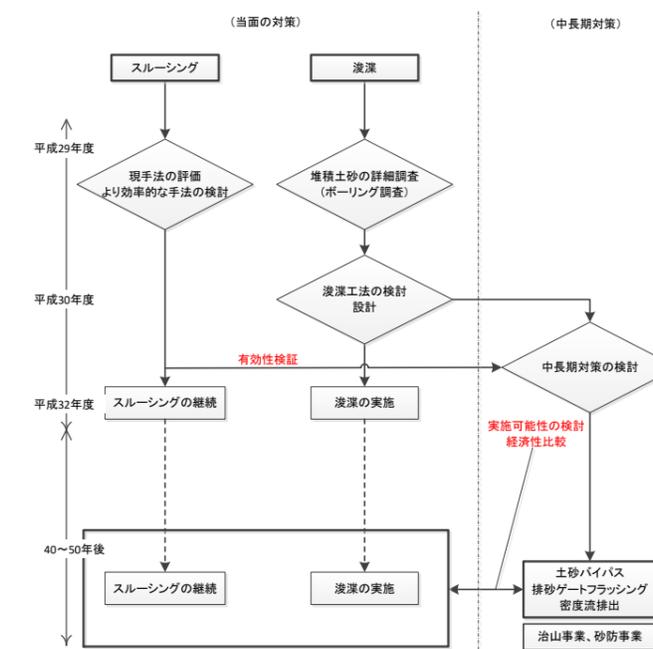
- 堆積土砂調査計画の検討
 - 既往資料の収集整理
 - 調査内容の検討
 - 調査計画の検討
- 堆積土砂調査時(水位低下時)の対応検討
 - 調整池水位及び濁度計測方法の検討
 - 下流河川の影響調査方法の検討
 - 調整池護岸の影響検討
- 堆砂対策の検討手法の計画立案
- 特記仕様書作成



堆積土砂調査計画（案）（ボーリング地点）

5. 得られた効果

平成 29～30 年度の堆積土砂調査及び堆砂対策検討の実施計画が立案され、船津ダム堆砂対策の実施に向けた検討を進めることができた。これにより、船津ダム堆砂対策実施に向けて取り組んでいくことを関係者に対して示すことにもなり、リニューアル事業への理解を促進することにつながった。（達成度 100%）



船津ダムにおける中長期の堆砂対策の検討スケジュール（案）